

# Istanbul Weekly vol.6-no.25

## イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年7月7日（金）

### — 今週のポイント —

**政治：**独におけるエルドアン大統領の演説・集会を巡る独政府との軋轢。

CHP、欧州人権裁判所へ国民投票やり直しを求める申立て。

**経済：**5月の貿易赤字、対前年同月比43%増。

アルコール飲料に7月から7.8%の特別消費税。

**治安：**PKK 戦闘員がヴァン県とディヤルバクル県の AKP 郡支部次長2名を殺害。

6月中にトルコ全土で ISIL 容疑者188名を逮捕。

PKK は欧州で年間2,500万ユーロの資金を獲得。

**軍事：**対 ISIL グローバル連合米大統領特使がアンカラを訪問。

**社会：**イスタンブール・ジャズ・フェスティバルが開催。

イスタンブールで106年ぶりの猛暑。

### 政治

#### 【内政】

##### ●第4回イスタンブール和平調停会合が開催

6月30日、イスタンブールで「和平調停に関する第4回イスタンブール会合」が開催された。国内外から多数の外交団や専門家等が参加した同会合においてチャヴシュオール外相は、「今日の紛争を解決するために、和平調停は非常に重要な手段であり、トルコは役割を果たしてきた。」とのビデオメッセージを送り、和平調停におけるトルコの取組をアピールした。(7月1日付M紙15面)

##### ●トルコにおける児童労働者85万人を巡る議論

7月3日、アンタルヤ県において、ユニセフ等の共催で「児童の権利と労働」会議が開催された。ドゥアメレ・ユニセフ・トルコ代表は、トルコにおいて児童労働の問題は、過去10年間で大きく改善されてはいるが問題が完全になくなっていないわけではなく、シリア危機が児童労働の状況を悪化させる原因になっていると指摘した。ユニセフによると、現在トルコには85万人の児童労働者が存在し、そのうち約40万人が農業分野等で季節労働者として働いている。(7月4日付M紙11面)

##### ●CHP、欧州人権裁判所へ国民投票やり直しを求める申立て

7月4日、CHPは、4月16日に実施された国民投票のやり直し実施の要求を欧州人権裁判所へ党として申し立てた。申立ての中では、国民投票の際に行われた不法行為が欧州人権条約の規定に反すると主張された。テズジャン CHP 副党首は、国民投票に関して欧州人権裁判所が適切な判断を下すことへの期待感を示した。(7月5日M紙18面)

##### ●カイナック副首相、シリア人民問題等の現状に言及

カイナック副首相は、シリア人難民の現状についての Milliyet 紙のインタビューに応え、トルコにおけるシリア人移民及び難

民の数は350万人に達し、そのうち28万人はキャンプに滞在していると述べた。また、ユーフラテスの盾作戦後、ジェラブルスを始めとしたいくつかの地域で、農業やシリア市民の生活を正常化させるための支援を政府が継続していると述べた。(7月6日付M紙15面)

#### 【外交】

##### ●チャヴシュオール外相、キプロス会合に出席

6月28日から7月7日まで、スイスのクラン・モンタナで行われているキプロス問題解決に向けた会合では、保証国制度や安全保障に関する様々な議論が行われている。同会合に出席したチャヴシュオール外相は、同会合について「最終的な会合」であると述べ、キプロス問題解決のための長年の交渉プロセスを終結させたいとの意欲を強調した。(6月30日付M紙16面)

##### ●エルドアン大統領、トランプ米国大統領及びプーチン露大統領と電話会談

6月30日、エルドアン大統領は、トランプ米国大統領及びプーチン露大統領と相次いで電話会談を行った。エルドアン大統領は、トランプ米国大統領との会談で、テロとの戦いにおける同盟強化やテロへの資金供給防止で協力していくことで合意した。また、プーチン露大統領との会談では、シリア問題を中心に協議し、7月7日から独で開催されるG20のマーゲンで直接会談を実施することで合意した。(7月1日付M紙13面)

##### ●ショイグ露国防相、イスタンブールを訪問、シリア情勢等を協議

7月2日、エルドアン大統領はイスタンブールのタラビヤにある大統領公邸でショイグ露国防相の表敬を受けた。露が非公開とした同会合には、ウシユク国防相、アカル参謀総長、フィダン MIT 長官及びカルン大統領報道官も同席し、カタル断交を

巡る問題や、北シリアのアフリン地域での戦況について協議された。(7月3日付H紙21面及びM紙14面)

### ●独におけるエルドアン大統領の演説・集会を巡る独政府との軋轢

6月29日、カリン大統領報道官は、エルドアン大統領がG20ハンブルグ・サミットの際に予定していた在留トルコ人との集会の開催を独連邦政府当局が許可しないことについて、独とトルコの同盟関係にふさわしくないと非難した。一方、シェーファ―独外務省報道官は、本件については相当前から外交ルートで要求する必要があったとし、今回は、いかなる形でも集会・発信等は認められないと述べた。また、エルドアン大統領は独政府に対し、演説許可を出さないことは自殺行為であると批判した。(7月6日付H紙23面他)

### ●トルコ、独の芸術家の大統領批判行為に抗議

7月4日、外務省は、独の連邦政府建物前においてドイツ人芸術家がエルドアン大統領等を過激な表現で非難する横断幕を掲げたことを強く非難する発表を行うとともに、在トルコ独大使館を通じて独外務省へ口上書でも伝えた。(7月5日H紙25面)

## 経済

### 【マクロ経済】

#### ●6月の経済信頼感指数、対前月比1.6%低下

トルコ統計庁の6月29日付けの発表によると、6月の経済信頼感指数は対前月比1.6%低下し、98.9となった。同指数の低下は、消費者、サービス及び小売業の信頼感指数低下によるもの。一方で、実体経済(製造業等)及び建設業の信頼感指数はそれぞれ108.8(同3.8%増)及び86.7(同0.4%増)と改善した。(6月30日付HDN紙11面他)

#### ●5月の貿易赤字、対前年同月比43%増

6月30日、トルコ統計庁と税関・貿易省の合同による暫定調査結果によると、5月の輸出総額は対前年同月比12.5%増の136億ドル、輸入総額は同21.7%増の209億ドルで、貿易赤字額は73億ドルとなり、同43%増であった。同月の主要な貿易相手国はドイツが首位の12億ドル、次いでアラブ首長国連邦(UAE)が10億ドル強、米国8.58億ドル、イラクが8.31億ドルと続いた。(7月1日付HDN紙10面他)

#### ●6月の輸出額、対前年同月比1.8%増

7月1日、トルコ輸出業者協会(TIM)は、6月の輸出総額が、ロシアとの貿易の復調を受け、対前年同月比1.8%増の127億ドルに達したと発表。また、2017年前半期の輸出も対前年同期比8.2%増の764億ドルであった。6月の輸出総額のトップ分野は、自動車産業で同16.4%増の25億ドル。また、生鮮食品の輸出の回復により、対ロシアの輸出額は89%増となった。(7月3日付HDN紙10面)

#### ●ボルサ・イスタンブール、史上最高値で週の終値

6月30日、イスタンブール証券取引所は、史上最高値で終値を迎えた。100指数(BIST100)は100,440.39ポイント。(7月3日付HDN紙10面)

#### ●6月の製造業の活動、拡大

7月3日、製造業の活動を示す製造業購買担当者景気指数(PMI)の6月の数値が、5月の53.5から54.7に上昇したと発表された。同指数は50以上で好景気を示す。企業活動環境の全面的改善を示すこの数字は、2013年11月以来最高値を更新。また、製造業における生産及び雇用もそれぞれ過去2、3年において最高の伸び率を記録した。同指数はイスタンブール工業会議所(ISO)とIHSMarkitにより毎月発表される。(7月

4日付HDN紙10面)

### ●インフレ率、緩和の兆し

7月3日付けのトルコ統計庁(TUIK)の発表によると、6月のトルコの消費者物価インフレは過去4か月で最低レベルにまで緩和された。対前月比0.27%減。年間の消費者物価指数は対前年比10.9%、5月の11.7%に比べ改善。なお、4月の11.87%という過去8年間の最高値は、食料品価格の上昇とトルコリラ下落の影響を受けたもの。6月のインフレ率は今年2月以降最も緩和されており、数か月前に高値を記録したトマトを始めとする生鮮食品の値下がりも反映した。(7月4日付HDN紙10面)

### ●粗鋼生産量、11.5%の伸び

7月4日、トルコ鉄鋼生産者協会(TCUD)は、2017年1月から5月までの間、トルコの粗鋼生産量が年間ベースで11.5%増加し、1,510万トンに達したと発表。トルコは世界で第8位の粗鋼生産国で、全世界の粗鋼の2.2%を生産。トルコの粗鋼輸出量は同22.5%増加の850万トンで、輸入量は同20.3%減の640万トンだった。トルコ国内の粗鋼消費量は同10.3%減の1,222万トン。(7月5日付HDN紙10面)

### ●トルコの銀行の総純利益、50%増加

銀行監督庁(BDDK)が7月3日発表したデータによると、2017年1月から5月までのトルコの銀行業界の総純利益は、対前年同期比50%増の212億トルコリラ(60億ドル相当)となった。5月時点の総資産は2016年末から7.3%増の2兆9,310億トルコリラ(8,260億ドル相当)。(7月5日付HDN紙10面)

### 【経済政策】

#### ●アルコール飲料に7月から7.8%の特別消費税

アルコール飲料に追加的に7.8%の特別消費税が付加されることが決定された。タバコについてはインフレへの影響を考慮し、2017年下半年は増税の対象外となることが発表されていた。70ccボトルのラクでは、4-4.5トルコリラの値上りとなる。(7月5日付HDN紙10面)

### 【労働政策】

#### ●公務員組合、政府と賃金引上げで合意

7月3日、労働社会保障省は、公務員組合連合との団体交渉の結果、2017年前半期7.5%、同後半期5%、2018年については前後半期各3.5%の賃金引上げ協定を締結。ユルドゥルム首相は、この協定により「総所得が3,000トルコリラ以下の現業公務員には90トルコリラの賃上げとなる」と発言。またTurk-Is組合のアタライ代表は、公的部門における下請け構造や6か月未満の期間雇用者の処遇改善を求める要望を提出した。(7月4日付HDN紙10面)

### 【運輸関連】

#### ●トルコの海峡を通過する船舶の係留を一週間に

6月29日、アルスラン運輸海事通信相は、トルコの海峡を通過する船舶の係留期間を現在の48時間から7日間まで延長可能とするため法整備を検討していると発表した。期間を延長することで、これまでの給油に加え、修繕やメンテナンス等の潜在的需要を取り込むことが目的である。(6月30日付HDN紙10面)

### 【企業等の動き】

#### ●サクソバンク、トルコ・イスタンブールでの営業を終了

6月28日、コペンハーゲンに本社を置く投資銀行のサクソバンクは、同行のトルコ支店での取引を終了し、今後は提携機関を通じて金融商品を販売していくことを発表。顧客には今後4か月間、口座を解約するか、別銀行の口座に振替するかの選択肢が与えられる。トルコは近年外国為替の変動リスクを最小限にするため、最大レバレッジを100倍から10倍に引き下

げ、最小証拠金を5万トルコリラとする制度を導入したが、これによりトルコでの外国為替取引会社の活動が難しくなってきた。(6月30日 HDN 紙 11面)

### ●トルコ版「フォーチュン500」トップ10、エネルギー関連企業7社が占める

7月3日、2016年の総売上高に基づくトルコの企業ランキング「フォーチュン500」リストが発表され、トップ10にはエネルギー関連企業7社が入った。第1位は石油精製の TUPRAS 社(348.5億トルコリラ)、第2位はエネルギー変換企業の EPIAS(同327.9億トルコリラ)、第3位は燃料油供給企業 OMV ペートル・オフィス社(307.9億トルコリラ)、第4位は前年1位の国営パイプライン運営企業の BOTAS 社だった。また、第7位にはディスカウント・スーパー最大手 BIM 社がランクインした。(7月4日付 HDN 紙 10面他)

トルコ版「フォーチュン500」トップ10企業

順位	企業名	純売上高 (単位: 億TL)
1	TÜPRAŞ(トルコ石油精製会社)	348.5
2	EPIAŞ(エネルギー変換会社)	329.7
3	OMV Petrol Ofisi A.Ş.	307.9
4	BOTAŞ(トルコ石油パイプライン会社)	296.8
5	TÜRK HAVA YOLLARI A.O.	294.6
6	OPET Petrolcülük A.Ş.	205.3
7	BİM birleşik mağazalar A.Ş.	200.7
8	FORD otomotiv SANAYİ A.Ş.	182.8
9	TETAŞ(トルコ電力売買契約会社)	168.9
10	SHELL & TURCAS Petrol A.Ş.	168.2

エネルギー関連企業

(表は新聞報道等を元に当館作成)

### 【インフラ関連】

#### ●EBRD、イスタンブール市地下鉄延伸計画に 8,830 万ユーロ融資

6月29日、欧州復興開発銀行(EBRD)はイスタンブール市に対し、市営地下鉄の延伸のために 8,830 万ユーロを融資すると発表した。同行は、イスタンブール市は 2018 年までに人口1,400 万人規模の都市となると予測し、公共交通機関の拡充が喫緊の課題であると判断。同市は現在の総路線距離 145km から、2019 年までに 450km、2030 年までに 650km へ拡大させると計画している。(6月30日付 HDN 紙 10面)

### 【観光関連】

#### ●5月の観光客数 288 万人、ロシア人が 60 万人超で首位

文化観光省が6月29日に発表した統計によると、今年5月のトルコへの全渡航者数は 288 万 9873 人、国別ではロシアが 60 万人超でトップであった。これは露ジェット機撃墜事件発生前の 2015 年同月よりも 10 万人以上多い。また今年1月から5月までの累計では、ロシア(928,376 人)に次いで2位はジョージア(874,955 人)、3位ドイツ(863,572 人)、4位イラン(774,010 人)、5位はブルガリア(638,409 人)だった。(6月30日付 HDN 紙 10面他)

### 【その他】

#### ●猛暑によりエアコンの販売台数、10倍に

6月最終週は記録的な猛暑に見舞われ、エアコンの販売台数が例年の10倍となり、各店舗では在庫切れとなる事態が相次いだ。家電量販店 Media Markt のギョクユルドゥルム・トルコ支

社長は、エアコンの販売数の伸びの背景には猛暑だけでなく、エアコンがもはや贅沢品ではなく、洗濯機や冷蔵庫等と同等の家電の一つと捉える消費者の認識の変化があるとコメント。(7月6日付 H 紙 15面)

## 治安

### 【PKK関係】

#### ●警察とMITがPKKとPYDの戦闘員8名を拘束

6月30日、警察とMITは、ガジアンテップ県でオペレーションを実施し、トルコ国内で「センセーショナルな攻撃」を準備していたとされるPKK及びPYDの戦闘員8名(シリア国籍者2名を含む。)を拘束し、爆発物146キロ及び24万5,000ドル相当の金を押収した。(6月30日付HDNインターネット版)

#### ●PKK戦闘員がヴァン県とディヤルバクル県のAKP郡支部長代行2名を殺害

7月1日、アヒAKPヴァン県オザルプ郡支部長代行が自宅から20メートルの場所でPKK戦闘員に射殺された。同日、メルジャンAKPディヤルバクル県リジェ郡支部長代行も自宅前でPKK戦闘員に銃撃され、病院に搬送された後に死亡した。警察は、後者の事件の容疑者として19名を拘束している。(7月1日付HDNインターネット版)

#### ●対PKKオペレーションでディヤルバクル県のPKK作戦責任者を殺害

6月27日、ビンギョル県で実施された対PKKオペレーションにより殺害されたPKK戦闘員11名の中に、トルコ内務省が指名手配し、懸賞金100万トルコリラを掛けていたシャハベッティン・チョタクが含まれていることが明らかとなった。チョタクは、ディヤルバクル県のPKK作戦責任者であったと見られている。(7月1日付HDNインターネット版)

#### ●6月23日から7月3日までの間に774回の対テロ・オペレーションを実施

7月3日、内務省は、6月23日から7月3日までの期間に774回の対テロ・オペレーションを実施し、戦闘員55名を殺害、4名を拘束、11名を投降させ、ハンドグレネード129個、ライフル65丁及び爆発物原料2,906キロを押収したと発表した。同期間中、PKK252名、ISIL15名及びFETO関連の容疑者269名をそれぞれ逮捕した。PKK関連の容疑者として逮捕されたメヴリュズ・ギュンドゥズは、イラクのカンディール山で他の武装勢力に暗殺訓練を施していたと見られている。

#### ●PKKは欧州で年間2,500万ユーロの資金を獲得

7月4日、ドイツ連邦当局は、PKKが、欧州で年間2,500万ユーロの資金を獲得しており、2015年9月から2016年初頭にかけて、ドイツのみで1,300万ユーロの資金が調達されたと報告した。ドイツからPKKへの送金は、過去10年で倍増している。ドイツは、1993年にPKKの活動を禁止したが、トルコ当局の再三の警告に反し、PKKの資金調達、プロパガンダ、リクルート活動に対して措置を講じることに消極的であったとされる。同報告によると、ドイツ国内には、約1万4,000名のPKK支持者がおり、リクルートされた者が北イラクのキャンプに送られている。(7月5日付S紙インターネット版)

#### ●6月中旬にトルコ全土でISIL容疑者188名を逮捕

警察は、6月中旬にトルコ全土における対ISILオペレーションで188名の容疑者を逮捕し、うち20名が現在も拘留中であると発表した。(7月1日付HDNインターネット版)



(写真は、7月1日付 HDN インターネット版より)

### ●警察が CHP の「正義の行進」を標的にしていた ISIL グループを摘発

7月5日、警察は、CHP の「正義の行進」に対する攻撃を計画していた ISIL グループ(6名)を摘発した。容疑者2名は、カイセリ県で攻撃に使用するために黒いミニバンをレンタルしており、「正義の行進」が進行中であったコジャエリ県で拘束された。残りの4名はカイセリ県で拘束されている。(7月5日付 HDN インターネット版)



(写真は、7月5日付 HDN インターネット版より)

### ●アダナ県で拘束された ISIL メンバーはトルコ国内のテロ攻撃を計画

7月5日、6月22日にアダナ県で拘束された ISIL メンバー12名に対する公判が開かれ、容疑者の1人が、「セルを組織し、戦闘員のリクルート及びシリアの戦闘員に対する資金、食料、衣類の提供を行っていた」と証言した。同12名は、イスタンブール、コンヤ、ブルサ、イズミルの各県からアダナ県に集まり、シリアで爆弾訓練を受けようとしていた。ISIL のアジトに対する捜索で発見されたテロ計画書から、シリアから帰国後、トルコの複数の県におけるテロ攻撃を計画していたことが判明している。容疑者は、テロの標的がドイツ、フランス、イギリス、ベルギー及びロシアであったと供述しているが、警察の捜査により、コンヤ県にある複数の宗教グループに対する攻撃計画も明らかになった。(7月5日付 HDN インターネット版)



(写真は、7月5日付 HDN インターネット版より)

### 【FETO 関係】

#### ●アンカラ大学の元職員 31 名に勾留状

7月4日、アンカラ最高検察庁の FETO 関連捜査により、FETO の通信アプリ「バイロック」を使用していたとされるアンカラ大学の元職員 31 名に対する勾留状が発布された。同職員らは、非常事態宣言により既に解雇・停職されていた。(7月2日付 HDN インターネット版)

### ●MIT のトラック捜索事件に関し、容疑者 55 名に終身刑 3 回分を求刑

7月4日、イスタンブールの検察官は、2014年にトルコ南部においてシリアに武器を輸送していたと見られる MIT のトラックが停止・捜索された事件に関し、大将1名、大佐2名等の軍幹部と MIT の元職員を含む容疑者 55 名の各々に対して 3 回分の終身刑を求刑した。起訴状によると、現場には 11 名の民間人の FETO メンバー(1名逮捕、10名逃亡中)がおり、うち2名が事件翌日に在アンカラ米国大使館と在イスタンブール米国総領事館に架電していた。検察庁は、同米大使館に説明を求める書簡を送付している。(7月2日付 HDN インターネット版)

### ●停職処分の警察官 739 名が復職

7月5日、FETO に関与した容疑で停職処分を受けていた警察官 739 名がソイル内務相の承認を得て復職した。停職者に対して捜査が行われたが、FETO との繋がりとは認められなかった。(7月5日付 HDN インターネット版)

### 【その他】

#### ●イスタンブール警察がトランスジェンダー活動家 7 名を拘束

7月2日、イスタンブール警察は、イスタンブール県知事の禁止命令に反してタクシム広場に向けてデモ行進したトランスジェンダーの活動家グループ 7 名を拘束した。同デモ行進は、当初、6月25日に予定されていたが、当日、警察が各地に検問所を設置し、催涙ガスとプラスチック弾で群衆を散会させ、41名を拘束していた。(7月2日付 HDN インターネット版)



(写真は、7月2日付 HDN インターネット版より)

#### ●都市部の若年貧困層の間で合成麻薬「ボンザイ」の使用が増加

6月29日、ボズダー法相は、現在トルコで刑務所に収監されている薬物犯罪者は 2 万 4,615 名であるとし、国民に密売者の情報提供を呼びかけた。トルコでは、都市部の若年貧困層の間で合成麻薬「ボンザイ」の使用が広がっているとされ、近年、薬物の取締りが強化され、罰則も厳しくなっている。(6月29日付 HDN インターネット版)

#### ●アンカラで地元住民とイラク・シリア難民が衝突

7月3日、アンカラの地元住民とイラク・シリア難民の間で発生した喧嘩は、イラク系トルコ人1名が刺傷されたことにより大規模な衝突に発展し、シリア人とイラク系トルコ人 7 名が負傷した。イェニマハーレ区では、地元住民がイラク・シリア難民の家を襲撃する事件が発生し、警察が放水により鎮圧した。(7月4日付 HDN インターネット版)

#### ●ギリシャの湾岸警備隊がトルコ船籍の貨物船に発砲

7月3日、ギリシャの沿岸警備隊は、停泊命令を拒否したエーゲ海を航海中のトルコ船籍の貨物船に向けて発砲した。同貨物船の船体 16 か所に弾丸が貫通したと思われる穴が確認された。(7月4日付 HDN 紙 1 面)

#### ●チャールヤン裁判所の ATM にスキミング装置

イスタンブール県警サイバー犯罪対策チームは、チャールヤン裁判所(イスタンブール・ヨーロッパ側)の ATM に設置されている防犯カメラを確認し、数名が同 ATM にスキミング装置を取り

付け、カードの暗証番号を読み取った後、取り外していたことが明らかとなった。裁判所職員等が不正に現金を引き出される被害に遭っている。(7月4日付M紙1面)

## 軍事

### ●マルマリスの軍基地所属の兵士 87 名に嘔吐の症状

6月27日、マルマリスの軍基地に所属する兵士87名が嘔吐の症状によりムラ島の病院に入院し、現在も兵士3名が治療中である。当局は、兵舎の水と食料及び兵士の血液からサンプルを採取し、原因の究明を進めている。6月17日には、マニサ県の第1歩兵訓練旅団の兵士731名も食中毒の疑いで入院している。(6月20日付HDNインターネット版)

### ●対ISILグローバル連合米大統領特使がアンカラを訪問

6月30日、マクガーク対ISILグローバル連合米大統領特使は、アンカラを訪問し、外務省及び国防関係者とラッカでのオペレーションやISIL対策について協議するとともに、米国のPYDに供給した武器に関してトルコ側に説明を行った。(6月30日付HTインターネット版)

## 社会

### ●ガラタ塔に亀裂発生の可能性

ガラタ塔の隣接地でビル建設工事が行われている中、周辺のアパートの壁等に亀裂が生じた。同アパートの住人である舞台俳優のギュルセン女史は「ガラタ塔の基礎部分にも亀裂があるとされている。工事に伴う振動で亀裂が大きくなる可能性は十分にある。塔の崩壊を恐れている。」と述べた。(6月24日付けH紙インターネット版)

### ●エフェソス古代遺跡での「夕食会」、論争を招く

クルーズ船の乗客を対象にツアー会社が企画したエフェソス遺跡での「夕食会」の写真が、ソーシャル・メディアで紹介された。同夕食会はイズミル文化観光局から許可を得て、十分な監視の下で行なわれたとされているが、遺跡前にテーブル、椅子、音響設備等を設置していることに、遺跡が傷つけられ、イメージを損なうと懸念する人々と、観光業の活性化に効果的だとする人々の間で論争が生じている。(6月30日付HT紙2面他)



(写真は6月28日付M紙インターネット版より)

### ●イスタンブールの空港利用者数、1千百万人を超える

砂糖祭の期間中、アタテュルク国際空港とサビハ・ギョクチェン空港の利用者が1千百万人を超えた。同期間中の増便数は228便。サビハ・ギョクチェン空港においては、2001年の開港時の利用者は4万7千人だったのに対し、本年6月23日から27日までの利用者は46万6千人にも達した。(6月30日付HT紙21面他)

### ●公共交通機関の運賃値上げ

イスタンブールの公共交通機関の運賃が7月1日から値上げされ、2.30リラから2.60リラとなり、また、乗換料金が1.65リラから1.85リラとなる。(6月30日付C紙インターネット版)

### ●トルコに合法的に滞在する外国人統計

トルコ移民局は滞在許可を得て国内に滞在する外国人58万3千人について統計を作成した。労働者として滞在する外国人で最も多いのはグルジア人で8千14人。次いでシリア人、中国人となっている。トルコには約3百万人のシリア人が滞在しているが、労働許可を得ているのはわずか7千53人となっている。一方で、学生として滞在している外国人で最も多いのはアゼルバイジャン人、次いでトルクメニスタン人、アフガニスタン人、イラク人、シリア人の順となっている。(7月1日付M紙4面他)

### ●エナジー・ドリンクの18歳以下への販売禁止へ

トルコ政府がエナジー・ドリンクの販売の規制に乗り出した。2018年1月1日からタバコ、アルコール飲料と同様に18歳未満へのエナジー・ドリンクの販売が禁止される。エナジー・ドリンクの缶には「1日に500ミリリットル以上の摂取は望ましくない」との注意書きが明記されるほか、スポーツ施設や教育機関の食堂、病院などでの販売及び広告も禁止となる。(7月1日付M紙インターネット版)

### ●イスタンブール・ジャズ・フェスティバルが7月4日から始まる

第24回イスタンブール・ジャズ・フェスティバルが7月4日から始まる。同フェスティバルではジャズを始めファンク、ワールド・ミュージック、ブルース、ロックなどのジャンルも演奏される。同フェスティバルはゾルル・センターのほか、18の会場で7月20日まで続く。フェスティバルの詳細は次のサイトから閲覧可能。<http://caz.iksv.org/tr>(7月1日付M紙インターネット版)

### ●イスタンブールで106年ぶりの最高気温を記録

北アフリカ大陸からの熱波の影響を受け、6月29日のイスタンブールの最高気温は37.2度に達し、106年ぶりの観測史上最高気温を更新した。県当局は午前10時から午後4時まで市民の外出を避けるように呼びかけた。(7月3日付HDNインターネット版)

### ●イズミルでの山火事で500ヘクタールの森林が消失

イズミル市メンデレス区で発生した山火事は37時間が経過しても完全に沈火せず、少なくとも500ヘクタールの森林が消失した。当局は陸上から50台の特殊消防車、空から9機のヘリコプター、4機の消火飛行機を投入して消火に努めている。この火事の影響でイズミルの一部では断水、停電が発生した。(7月3日付HT紙14面他)

### ●ビーチで「ドローン」を使った監視始まる

イスタンブール市は市内の海水浴場で海水浴を楽しむ市民の安全を守るため、「ドローン」を使用した救命チームを結成。同チームは遊泳者の異変を察知するとドローンから浮き輪を投下する。これまで45日間で1,061名がドローンで救助された。(7月4日付HT紙22面他)



(写真は7月4日付インターネット版より)

### ●ラップトップ、タブレットの機内持ち込み可に

7月5日、アルスラン運輸大臣は「本日から米国直行便に対す

る電子機器の機内持込み制限は解除されるだろう」と述べた。この解除は、イスタンブールのアタテュルク空港にX線と超音波を用いた高度で複雑な断層撮影機器を導入したことによるもので、米国当局の調査団が、当地においてこの機器を確認することになっている。(7月5日付けH紙インターネット版)

●建設中の新空港へのバス路線で試運転始まる

第三空港への交通整備が進んでいる。運行が予定されるバス路線では7月5日から試運転が開始され、区間は「オクメイダヌ」-「ハスタル」-「ケメル・ヨル」-「アアチル交差点」-「新空港」となっている。(7月6日付HT紙13面他)

●地下鉄タクシム駅でエレベーター故障する

7月5日午後3時ごろ、地下鉄タクシム駅構内から地上に繋がるエレベーターが故障し、利用者6人が閉じ込められた。消防隊と技術者による復旧作業が行われ約40分後に救出された。(7月6日付HT紙13面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党(現与党)	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党(クルド政党)	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党(最大野党)	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党(クルド政党)	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKI	トルコ集合住宅開発局
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公司
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İSID	イラク・レバントのイスラム国(アルカイード系)	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TOPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟(PKK系)	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党(野党)	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.6.15 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	1件	6件	0件	0件	0件	6件	0件	0件

今週は、イスタンブール市旧市街において、デビットカードが不正に使用され、現金が引き出される被害が発生しています。各種カードの盗難被害や紛失に備え、カード会社の連絡先や利用停止申請方法をあらかじめご確認ください。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 日本イスマイル文化友好協会 (JIKAD) に対する外務大臣表彰について (6/29) **NEW**
- 【実施報告】第21回 ISMEK (イスタンブール市生涯教育センター) フェスティバル「日本デー」(6/20) **NEW**